

教育委員会からのお知らせ

町民大学 一下諏訪を学ぶ⑤

演題・講師：メンデルの遺伝に関する話

「染色体からみたヒトの遺伝と健康」

平井 百樹 (東京大学名誉教授)

「人類生存の条件」

長田 敏行 (法政大学教授、東京大学名誉教授)

日時：11月5日(土) 午後1時30分～午後3時

会場：文化センター集会室

下諏訪出身の篠遠喜人博士が創設されたメンデル協会による講演です。遺伝に関する情報は身の回りに溢れていますが、正しい知識は案外知らないものです。最先端で活躍される先生に分かりやすく教えていただきます。ご期待ください。

(問合せ・申込先) 下諏訪町公民館 28-0002



きこね

としょかんまつり 2011



きこね

10/15(土) 16(日)

家族みんなで楽しめる企画満載！ぜひこの機会に図書館にいらしてください。

15 (土)

時間

16 (日)

10:00～ 展示 ・俳句 ・写真 ・創作童話	10:00～ 体験しよう ・朗読 ・点字 ～12:00	10:00～ こども俳句教室 ～12:00	10:30～ おはなしの広場 ペープサート パネルシアター ～11:15	10:00～ マジックショー ～10:45	10:00～ 体験しよう ・朗読 ・点字 ～12:00	10:00～ 展示 ・俳句 ・写真 ・創作童話
		13:00～13:40 図書館寄席		11:00～ 子ども映画会 ～12:00		
		14:00～15:00 声の贈り物朗読会		13:30～14:00 リコーダーミニコンサート		
		15:30～ 映画会「明日」 ～17:30		14:15～ 子ども工作教室 ～15:15		
				15:30～ CDでJAZZを聴こう！ ジャズ三昧 ～17:30		
古本市 ～17:30						古本市 ～17:30

問い合わせ先 下諏訪町立図書館 0266-27-5555

二十二年度 きずな祭での意見発表より 周りの人に支えられて



下諏訪中学校二年

守谷

裕多

僕には、まだ保育園にいつている五歳の妹がいる。僕はこの幼い妹を、部活のためにふりまわしている。

僕は、サッカー部に入った。サッカー部はほぼ毎日活動しており、休みの日は試合か練習がある。夏休みの練習では毎回送り迎えしてもらった。そのせいで妹の好きなことをさせてあげられなかった。八月には、白馬の遠征があった。日帰りで四日間行き、父や母たちが毎日サポートに来てくれた。僕の母も二回ほど来てくれた。母がサポートに来てくれた時には、妹はおばの家にあずかってもらっていた。また、試合の時は弁当が必要だ。その弁当を作ってくれ

るのも母だった。

ぼくはそんな母と妹に、少しでも休む時間や遊ぶ時間、自由な時間をつくってやりたいと、いつも思っている。そこで僕が考えたのは、自分で出来ることは自分でやることだ。たとえば、練習や試合に必要な自分のポトルを準備したり、チームで持つてくるように言われた物を準備したりしている。また試合で使ったユニフォームやスパイクを自分で洗うようにするなどである。それでも親にやってもらっていることが絶対に多いので、自分でできることを増やしていきたいと思う。

ある日、部活の終わりに先生が話してくれた。「お前たちが自由にサッカーをできる環境を、学校や親たちがつくってくれて



いるんだぞ。感謝するように。」先生の言葉に「やっぱり」と思った。母は「妹も応援してくれているんだから、ちゃんとがんばりなさいよ。」と言っていた。そんな気持ちにこたえられるように、がんばりたいと思う。もちろん自分が出来ることは、しっかりやっていくつもりだが、僕一人の力では、部活を続けていくことはできない。だから協力してもらおうとこころははいても、自分たちが出来る所は自分たちでできるようにしていきたい。僕はまだ一年なので、試合に出る機会は少ない。だからこそ、先輩たちのサポートをすることなど、今できることが多くあると思う。部活の中でも、そして家族の中でも、周りの人への感謝の気持ちを忘れずに、自分のやるべき事をがんばってやっていく自分でありたいと思う。

十のこね

私たちは子どもたちが幼かった頃、星が丘に住んでいた。西側には神の湯へ通ずる道の斜面があり、木々を揺らす風の音、実の落ちる音、小動物がすり抜けるらしき音などしてくる。

子どもたちは昼寝の後、そのまま私と布団の中で耳を澄ます。「今の音は何かな、リスかしら」などと話しかけると、子どもたちはほとんど想像を膨らませて、自分の考えたお話をしてくれる。前にも読んであげた本を、「また読んで」と持ってくる。読み進むうちに、以前涙でいっぱいになった所の数行前になると、その目は潤み始め、また感動の涙、泣き声となる。

ある時は、クレヨンやキリンなどの登場するお話を作ってと私が頼むと、想像力豊かなお話をしてくれる。私は、それを後でノートに書いておく。

(上脇)